支援プログラム（児童発達支援）

事業所名　そだちサポートMana

作成日　2025 年　3 月　1 日

法人（事業所）理念		『地域で生きる力』を育む療育、家族支援・地域づくりを包括的に展開し，利用者と家族が地域の中で生活し、幸せを追求できることを目指します。		
支援方針		・利用者本人の生きる力や能力を伸ばし社会参加を支援します。 ・利用者をとりまく環境に着目し、親子の愛着形成や健全な家族関係づくりを支援します。 ・専門性の高い職員の配置に努め、個人及び集団の両面から療育を行い、効果的な発達支援を提供します。		
営業時間		土曜日は 10時30分～ 11時50分小集団 平日9　30　10　30 10 時　50 分から　11 時　50 分まで 13　30　14　30	送迎実施の有無	あり　[✓ なし]
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	生活に必要な自立の手助けをします。保護者に療育の場を見学してもらいながら連携を密に図り、安定した生活が送れるように支援します。 ・所持品の管理、身支度を身につけます。 ・身辺自立に向けての支援をします。 ・清潔、感染予防行動への支援をします。		
	運動・感覚	専門職の評価を基に、個々に必要な動作や運動の支援を、遊びや活動に組み入れます。 ・運動と感覚の協応を高めます。 ・粗大運動と微細運動を向上させます。 ・感覚過敏に対する配慮をします。		
	認知・行動	専門職による評価と計画を基に認知機能の向上のための支援をします。 利用者の得意・不得意を踏まえ、見通しをもって納得したうえで、自己決定できるよう支援します。 ・視覚支援の活用で言葉だけでなく、見通しや理解を深める提示をします。 ・知育教材や玩具を活用し思考力を養います。・ルールのある遊びで社会性を養います。		
	言語 コミュニケーション	ことばの発達における段階に応じて丁寧な支援を重ねていきます。 ・ことばによるコミュニケーションの基盤になる心の成長・気持ちのやりとりを育み、語彙力・ことばの理解・コミュニケーション力をつけます。 ・専門職員により必要なトレーニングを導入します。		
	人間関係 社会性	自己肯定感を高め、他者や社会を受け入れる力を育てます。大人との1対1から子どもの小集団まで丁寧に社会性が身につくように支援します。 ・スケジュールや活動のルールに沿って行動ができるように支援します。 ・他者に自分の思いを伝える力・他者の思いを受け入れる力をつけ、折り合いをつけながら、社会参加ができる体験を積む支援をします。		
家族支援		療育の現場を参観していただき、利用者の様子や療育の取り組みについて常に確認していきます。家族からの相談は随時受けられるよう努め育児支援をします。兄弟児についての相談も受け入れます。	移行支援	保護者の希望、了承の下、各機関と連携をし、相談援助を実施する。
地域支援・地域連携		当事業所以外での利用者の様子について情報を共有できるよう関係機関と連携を取ります。	職員の質の向上	計画的な研修、内部専門職による研修及び、外部講師を招いて研修を行うことにより職員の資質向上を図る。定期的な職員会議、ケース検討を行い職印間の連携を図る。
主な行事等		ハイキング（春季）　夏まつり（夏季）　地域公民館の文化祭参加（10月）　みかん狩り（11月）		